



令和4年3月7日

## 電子レンジを使用した火災が増加しています！

～ 過去10年間で最多 ～

令和3年中に電子レンジから出火した火災は、過去10年間で最も多い65件（速報値）でした。本年も3月6日現在で昨年より10件多い19件発生しており、今月に入りすでに2件発生しています。

電子レンジは子どもから高齢者まで幅広い世代が手軽に使用できる便利な電気製品ですが、使用方法を誤ると大きな被害が発生することもあります。

電子レンジを使う時は、取扱説明書で使用方法を確認し、適切な加熱時間で調理しましょう。

### 【火災発生状況】

電子レンジから出火した火災が、平成23年から令和2年までの10年間で、350件発生し、死者1人、負傷者29人発生しています。

火災に至った要因別にみると、食品等を長時間加熱しすぎて火災になったり電子レンジ調理不可のアルミ製の包装ごと加熱したため火災になるといった2つの要因が7割近くを占めています。

年齢区分別では、高齢者が他の年齢区分と比べて電子レンジ調理不可の包装ごと加熱したなどによる要因が3割近くと最も高くなっています。

### 【火災を防ぐために】

- 1 さつま芋や肉まんなどは、長時間加熱しすぎると急速に燃える危険性があります。加熱時間を長めに設定せず、取扱説明書や調理方法等よく確認しましょう。
- 2 その場を離れず、食品の様子を見ながら加熱しましょう。
- 3 冷凍食品などは、『袋ごとレンジ不可』など包装の表示を必ず確認しましょう。
- 4 普段から電子レンジの周囲には、可燃物を置かないようにしましょう。

### 【万が一火災が起きた時には】

電子レンジの扉を開けずに電源を遮断して、119番通報してください。

※ 詳細は、別紙資料を参照してください。

※ 実験映像と写真を希望する社は、広報課報道係までご連絡ください。

### 問合せ先

東京消防庁 (代) 電話 3212-2111  
予防部調査課 内線 5066 5068  
広報課報道係 内線 2345～2350

## 【別紙資料 1】

### 1 電子レンジによる火災の年別発生状況（過去 10 年間）

年 別	合 計	建 物					焼 損 床 面 積 (㎡)	焼 損 表 面 積 (㎡)	死 者 (人)	負 傷 者 (人)
		小 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や				
合 計	350	350	1	-	12	337	203	52	1	29
平 成 2 3 年	21	21	-	-	1	20	15	-	-	1
平 成 2 4 年	22	22	-	-	-	22	-	-	-	2
平 成 2 5 年	29	29	-	-	1	28	-	5	1	4
平 成 2 6 年	24	24	-	-	1	23	-	19	-	1
平 成 2 7 年	36	36	-	-	1	35	-	1	-	2
平 成 2 8 年	35	35	-	-	1	34	2	12	-	4
平 成 2 9 年	45	45	1	-	1	43	105	-	-	1
平 成 3 0 年	40	40	-	-	2	38	29	-	-	5
令 和 元 年	47	47	-	-	-	47	-	-	-	3
令 和 2 年	51	51	-	-	4	47	52	15	-	6
令 和 3 年	65	65	-	-	1	64	6	2	-	3
令 和 4 年 (3月6日現在)	19	19	-	-	-	19	-	-	-	1

注 1 合計欄の数値は、平成 23 年から令和 2 年の合計値です。

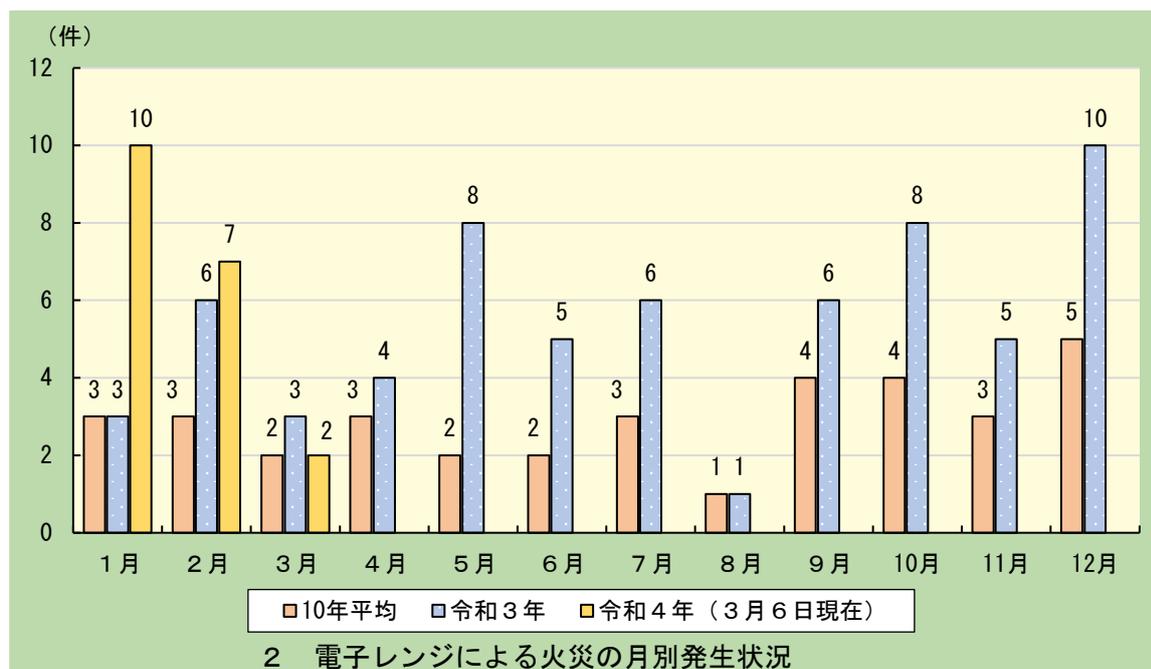
2 令和 3 年の数値は、令和 4 年 2 月 15 日現在の速報値で、後日変更される場合があります。

(以下同じ。)

3 令和 4 年の数値は、令和 4 年 3 月 6 日現在の速報値で、後日変更される場合があります。

(以下同じ。)

### 2 電子レンジによる火災の月別発生状況



2 電子レンジによる火災の月別発生状況

注 過去 10 年間の平均件数は、小数点第一位を四捨五入しています。

### 3 電子レンジによる火災に至った要因別の状況（過去10年間）

年 別	合 計	過 熱 する	考 え 違 い に よ り 使 用 を 誤 る	ス パ ー ク する	用 以 本 外 来 の の 用 途 に	で 構 造 が 不 完 全 あ	そ の 他
合 計	350	166	70	21	16	14	63
平 成 2 3 年	21	4	3	3	-	2	9
平 成 2 4 年	22	7	4	3	2	3	3
平 成 2 5 年	29	13	9	3	-	2	2
平 成 2 6 年	24	11	4	3	3	1	2
平 成 2 7 年	36	16	6	-	3	2	9
平 成 2 8 年	35	16	3	3	1	-	12
平 成 2 9 年	45	21	18	1	-	1	4
平 成 3 0 年	40	18	7	3	4	2	6
令 和 元 年	47	31	8	-	2	-	6
令 和 2 年	51	29	8	2	1	1	10
令 和 3 年	65	47	9	4	2	-	3
令 和 4 年 (3月6日現在)	19	12	5	1	-	-	1

注1 「過熱する」とは、主に食品等を長時間加熱しすぎて出火したもの。

(例 さつま芋やおにぎりなどを加熱しすぎたため、食材が炭化して出火)

2 「考え違いにより使用を誤る」とは、主に電子レンジ調理不可のアルミ製の包装ごと加熱したため出火したもの。

(例 アルミ製レトルトパックごと電子レンジで加熱できると考え違いをして加熱したため出火)

3 「スパークする」とは、主に電子レンジで加熱した際、金属から火花が出て出火したもの。

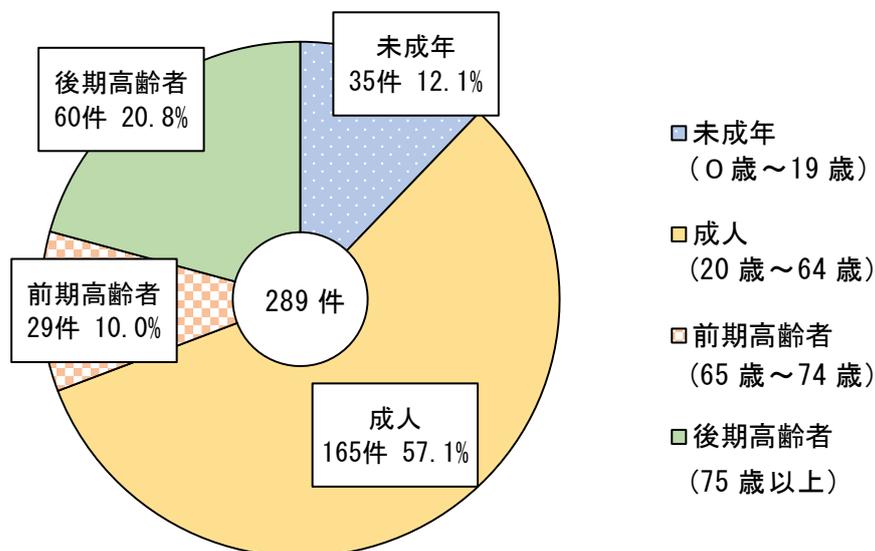
(例 お弁当入りバッグ内の金属製スプーンに気が付かずに加熱したため、火花がでて出火)

4 「本来以外の用途以外に用いる」とは、調理以外の目的で電子レンジを使用し出火したもの。

(例 濡れタオルを温めるため加熱し出火)

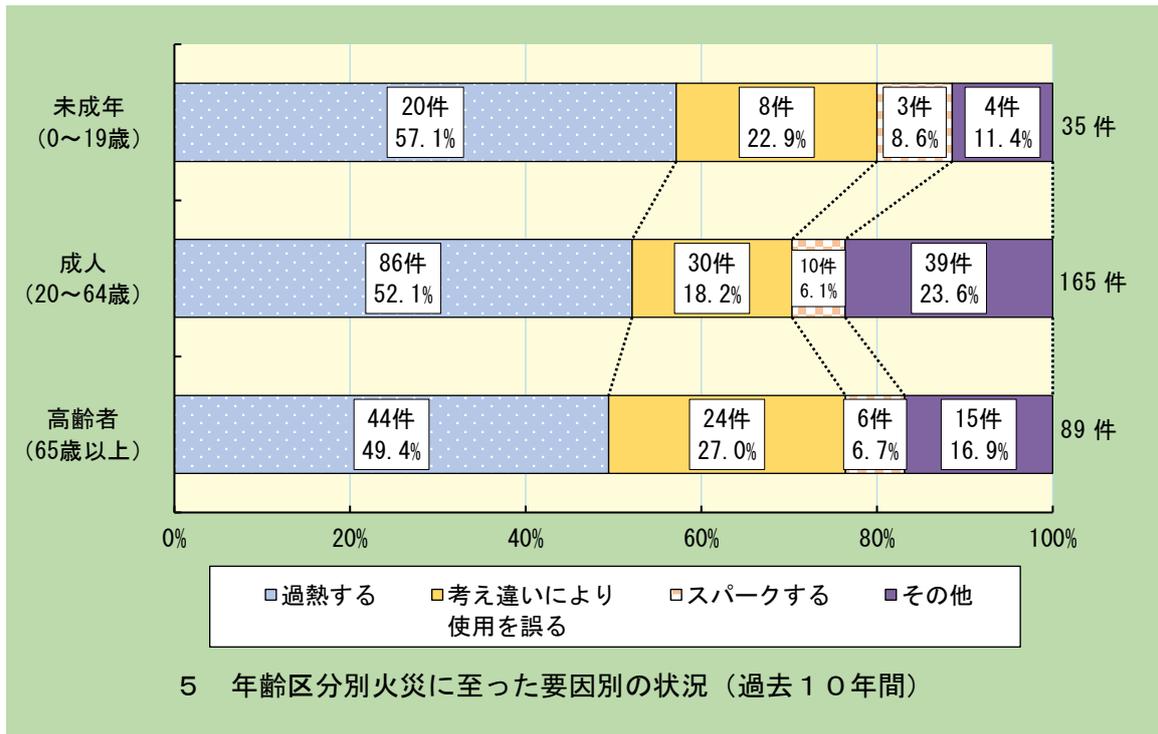
5 「構造が不完全である」とは、社告品・リコール品の電子レンジから出火したもの。

### 4 電子レンジによる火災の行為者年齢区分（過去10年間）



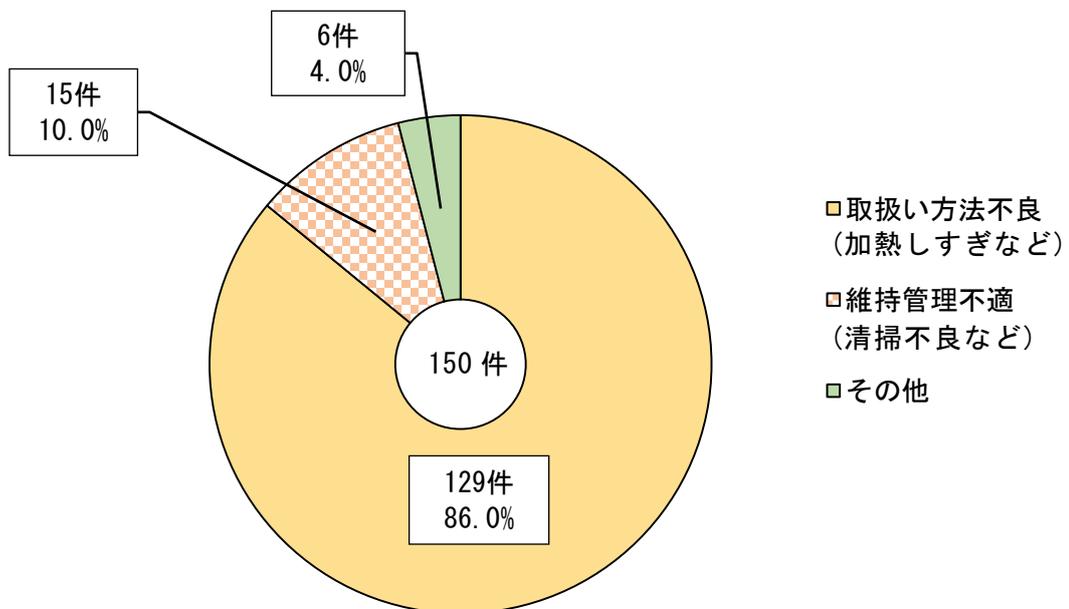
注 過去10年間の数値は、行為者が特定された件数になります。

5 年齢区分別火災に至った要因別の状況（過去10年間）



注 過去10年間の数値は、行為者が特定された件数になります。

6 火災に至った要因が「過熱する」の出火要因別件数（過去10年間）



## 【火災事例】

事例1 「電子レンジでおにぎりを加熱し過ぎたために出火した火災」

(令和3年4月 15時頃 複合用途 負傷者なし)

### 【概要】

この火災は、複合用途建物の1階物品販売店舗の来店客用の電子レンジから出火したものです。

出火原因は、来店客(年齢不詳)が購入したおにぎりを電子レンジで加熱し過ぎたため、出火したものです。



写真1 電子レンジの状況



写真2 焼損した食品の状況

事例2 「電子レンジでさつま芋を加熱し過ぎたために出火した火災」

(令和3年10月 10時頃 住宅 負傷者なし)

### 【概要】

この火災は、住宅1階台所の電子レンジから出火したものです。

出火原因は、居住者(30代)がさつま芋を電子レンジで加熱した際、加熱時間設定(15分程度)を誤ったため、電子レンジ庫内のさつま芋が過熱され、出火したものです。



写真3 電子レンジの状況



写真4 焼損したさつま芋の状況

事例3 「電子レンジでアルミホイルを加熱して出火した火災」  
(令和3年10月 18時頃 複合用途 負傷者なし)

【概要】

この火災は、複合用途建物の3階共同住宅の台所の電子レンジから出火したものです。  
出火原因は、居住者(20代)がプラスチック製容器に入っているアルミホイルに包まれた焼きそばを電子レンジで温めたところ、アルミホイルが電子レンジから発生したマイクロ波を受けて放電し、プラスチック製容器に着火して出火したものです。



写真5 電子レンジの状況



写真6 プラスチック製容器に入ったアルミホイルと食材の状況

事例4 「電子レンジの火災により傷者が発生した火災」  
(令和3年4月 2時頃 共同住宅 負傷者1人)

【概要】

この火災は、共同住宅2階台所の電子レンジから出火したものです。  
出火原因は、居住者(40代)が電子レンジを使用中に、庫内に付着していた油かすが過熱され、出火したものです。  
初期消火時に、居住者1名が喉に火傷(軽症)を負っています。



写真7 電子レンジの状況



写真8 電子レンジ庫内部の状況

### 【電子レンジの火災実験】

電子レンジにさつま芋を入れて、長時間加熱して出火に至る状況を実験したものです。

「さつま芋」、「肉まん」、「油かす」、「パン」、「菓子」、「じゃがいも」などを加熱しすぎて出火した火災事例があります。取扱説明書で食材にあった設定時間を確認し、正しく使用しましょう。

- 1 さつま芋（生）の加熱開始（700W（ワット）で加熱）



- 2 電子レンジの状況（12分後煙が噴出）



- 3 電子レンジの状況（14分後出火）



YouTube 東京消防庁公式チャンネル  
「電子レンジ火災の実験映像」